

# 他には真似のできない 環境分野の計測

田中電気研究所は放射線計測器やダスト濃度計など、主に環境計測器を開発、製造しています。中でも放射線計測器は45年前から大手電機メーカーの下請けとして、心臓部となる測定モジュールの製造に携わっています。人命に関わる品質管理の厳しい製品であるため、経験と実績が他社を寄せ付けられない強みになっています。東日本大震災のあと、この放射線計測器が急激に需要を伸ばすことになりました。

同社は自社開発製品にも力を入れています。煙突から出るばいじん塵を連続的に測定できるダスト濃度計ではトップメーカーを目指しています。大気汚染防止の要となる製品として、国内の電力会社火力発電所や製鉄所、ごみ清掃工場などへの実績を延ばしています。

田中敏文代表取締役には大学のころから環境計測の仕事をしたという夢があったそうです。「ダスト濃度計はまさにライフワークなんです」と笑います。



製造工場は那須烏山市に建てた。世田谷では研究開発を行っている

ここがすごい!!

## 「狡兎三窟」のしなやかな経営術

「狡兎三窟」とは、賢いウサギは3つ穴を持っているという意味。3つの穴があれば1つの穴から敵が来ても別の穴から逃げられるという中国の古典に出て来ることばです。

田中電気研究所の経営術は、まさにこのことばどおり。下請製品と自社製品とのバランスを取ったしなやかな経営で、一方がうまく行かなくなっても転んでしまわないようにしています。「狡兎三窟」の経営には相乗効果もあります。巨大なプラントへの売り込みには実績が重要になります。大手メーカーの製品を作っているという実績で、田中電気研究所を信頼してもらえる効果です。



自社製品。左はダスト濃度計、右は環境粉塵モニター



環境立国沖縄県で煙突からのばいじんを連続監視する同社のダスト濃度計



通信機能を持った放射線線量計。自宅から連続測定できる

### 株式会社田中電気研究所

www.tanaka-e-lab.com

代表者 田中 敏文  
所在地 世田谷区経堂3-30-10  
設立 昭和38年(1963年)  
主な事業 計測制御機器の開発・製造  
連絡先 ☎03-3425-2381



田中敏文代表取締役

## VOICE 視野を広くしましょう

ひとつの分野だけに集中していると、将来その分野で挫折したときにそこで終わってしまいます。例えば自動車が好きだったら自動車だけではなく航空、宇宙、環境…と視野を広く持ちましょう。もし、環境の道に進んだとしても自動車との関係はあるはず。自動車の排ガスは環境問題ですし…。

みんなどこかにつながっているんですね。